

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 18 日 (2021.11.18)

【公開番号】特開 2020-193159 (P2020-193159A)

【公開日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【年通号数】公開・登録公報 2020-049

【出願番号】特願 2019-98591 (P2019-98591)

【国際特許分類】

A 0 1 N 63/00 (2020.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 N 25/10 (2006.01)

A 0 1 N 25/30 (2006.01)

A 0 1 N 25/34 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

B 0 5 D 7/04 (2006.01)

B 0 5 D 3/04 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

B 6 5 D 85/50 (2006.01)

B 6 5 D 65/42 (2006.01)

B 6 5 D 81/28 (2006.01)

A 2 3 L 3/3526 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 63/00 A

A 0 1 P 3/00

A 0 1 N 25/10

A 0 1 N 25/30

A 0 1 N 25/34 A

B 3 2 B 27/00 H

B 3 2 B 27/36

B 0 5 D 7/04

B 0 5 D 3/04 C

B 0 5 D 7/24 3 0 3 A

B 0 5 D 7/24 3 0 2 C

B 0 5 D 7/24 3 0 1 B

B 0 5 D 7/24 3 0 3 E

B 6 5 D 85/50 1 0 0

B 6 5 D 65/42 A

B 6 5 D 81/28

A 2 3 L 3/3526 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 6 日 (2021.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエチレンテレフタレート、またはポリスチレンを基材とする、シート、容器または包装フィルムであって、
少なくとも一部の表面が、
コロナ放電処理され、さらに
プロタミンまたはその塩を含む層で被覆されている、
シート、容器または包装フィルム。

【請求項 2】

食品包装材として許容される材料を基材とする、シート、容器または包装フィルムであって、
少なくとも一部の表面が、
コロナ放電処理され、さらに
プロタミンまたはその塩を含む層で被覆されている、
シート、容器または包装フィルム。

【請求項 3】

プロタミンまたはその塩を含む層がさらに乳化剤を含む、請求項 1 または 2 に記載の、シート、容器または包装フィルム。

【請求項 4】

乳化剤が、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、ショ糖脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、ステアロイル乳酸カルシウム、ステアロイル乳酸ナトリウム、プロピレングリコール脂肪酸エステル、レシチン、またはサポニンからなる群より選択されるいずれかである、請求項 3 に記載の、シート、容器または包装フィルム。

【請求項 5】

基材が、ポリエチレンテレフタレートである、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の、シート、容器または包装フィルム。

【請求項 6】

ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエチレンテレフタレート、またはポリスチレンを基材とする、原反シートまたはフィルムの少なくとも一方の表面に、コロナ放電処理する工程；

コロナ放電処理した表面を、プロタミンまたはその塩を含む水溶液で被覆する工程；ならびに

水溶液が塗布された原反シートまたはフィルムを、乾燥する工程を含む、シート、容器または包装フィルムの、製造方法。

【請求項 7】

食品包装材として許容される材料を基材とする、原反シートまたはフィルムの少なくとも一方の表面に、コロナ放電処理する工程；

コロナ放電処理した表面を、プロタミンまたはその塩を含む水溶液で被覆する工程；ならびに

水溶液が塗布された原反シートまたはフィルムを、乾燥する工程を含む、シート、容器または包装フィルムの、製造方法。

【請求項 8】

プロタミンまたはその塩を含む水溶液が、乳化剤を含む、請求項 7 に記載の製造方法。